



J.Fukuda

THE ELM STAKES

第30回 エルムステークス (GⅢ)

1 着 2 着 3 着 4 着 5 着
本 賞 38,000,000円 15,000,000円 9,500,000円 5,700,000円 3,800,000円
付加賞 504,000円 144,000円 72,000円



レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

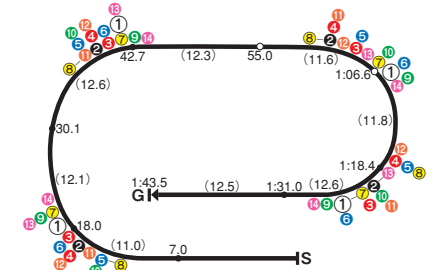
3歳以上、除未出走馬および未勝利馬

負担重量 3歳54^{kg}・4歳以上57^{kg}、牝馬2^{kg}減、2024.8.3以降GⅠ競走(牝馬限定競走を除く)1着馬3^{kg}増、牝馬限定GⅠ競走またはGⅡ競走(牝馬限定競走を除く)1着馬2^{kg}増、牝馬限定GⅡ競走またはGⅢ競走(牝馬限定競走を除く)1着馬1^{kg}増、2024.8.2以前のGⅠ競走(牝馬限定競走を除く)1着馬2^{kg}増、牝馬限定GⅠ競走またはGⅡ競走(牝馬限定競走を除く)1着馬1^{kg}増(ただし2歳時の成績を除く)

2025.8.9 札幌 晴・稍重 ダ1700^m (国産) (指定)

着順	馬番	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り (600 ^m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	①	ベリエール	牡	5	57	佐々木大輔	1:43.5	5-3-3-3	36.6	486(+2)	8.9 ^⑤	黒岩陽一(美浦)	112
2	⑥	ロードクロナス	牡	4	57	藤岡佑介	2 ¹ / ₂	6-6-3-3	37.0	494(+4)	2.6 ^①	四位洋文(栗東)	108
3	⑦	ミッキーヌチバナ	牡	7	57	鮫島克駿	1	8-8-11-7	36.5	522(+2)	41.8 ^⑩	高橋 亮(栗東)	106
4	④	ウィリアムパローズ	牡	7	59	横山武史	1 ¹ / ₄	1-1-1-1	37.8	492(-6)	14.6 ^⑧	上村洋行(栗東)	108
5	⑧	ベイシャエス	牡	5	58	横山和生	クビ	14-14-14-11	38.3	512(+12)	12.4 ^⑦	小西一男(美浦)	107
6	⑩	ブライアンセス	牡	5	58	丹内祐次	1 ¹ / ₄	11-11-11-7	37.0	520(+6)	11.0 ^⑥	斎藤 誠(美浦)	107
7	③	ドゥアラエレーデ	牡	5	57	松山弘平	アタマ	6-6-8-5	37.4	524(+10)	7.0 ^②	池添 学(栗東)	
8	⑦	デーオードレフォン	牡	6	57	丸山元氣	3 ¹ / ₂	2-3-5-5	38.2	498(-2)	18.6 ^⑨	梅田智之(栗東)	
9	⑨	ショウナンライシン	牡	5	57	池添謙一	1 ¹ / ₄	8-8-10-14	38.1	498(-4)	152.3 ^⑭	大竹正博(美浦)	
10	⑩	ヴァルツァーシャル	牡	6	57	古川吉洋	2 ¹ / ₂	2-2-2-2	39.2	504(±0)	45.4 ^⑪	高木 登(美浦)	
11	④	スレイマン	牡	7	57	浜中 俊	1 ¹ / ₂	8-8-11-11	38.6	544(-2)	67.7 ^⑫	池添 学(栗東)	
12	⑩	トロヴァトーレ	牡	4	58	Cルメール	1 ¹ / ₂	12-11-5-7	39.3	494(-4)	8.5 ^④	鹿戸雄一(美浦)	
13	⑬	ワールドタキオン	牡	7	57	斎藤 新	アタマ	2-3-7-10	39.1	504(±0)	125.5 ^⑬	斎藤 誠(美浦)	
14	⑭	マテンロウスカイ	騾	6	58	横山典弘	5	12-11-8-11	39.9	482(+2)	7.5 ^③	松永幹夫(栗東)	

単勝①890円(5^{kg}) 複勝①240円(3^{kg}) ⑥130円(1^{kg}) ②580円(10^{kg}) 枠連①-④900円(3^{kg})
馬連①-⑥1,060円(3^{kg}) ワイド①-⑥480円(3^{kg}) ①-②3,560円(42^{kg}) ②-⑥1,570円(18^{kg})
馬単①-⑥2,940円(10^{kg}) 3連複①-②-⑥10,620円(32^{kg}) 3連単①-⑥-②60,680円(197^{kg})



通過タイム : 700^m 900^m 1100^m 上り : 800^m 600^m
42.7 - 55.0 - 1:06.6 48.5 - 36.9

アラカルト

- ・佐々木大輔騎手はエルムS初勝利。JRA重賞は本年2勝目、通算5勝目
- ・黒岩陽一調教師はリッカルドで制した16年に続くエルムS2勝目。JRA重賞は本年2勝目、通算10勝目
- ・ヘニーヒューズ産駒はJRA重賞通算15勝目
- ・5歳馬の勝利は24年ベイシャエスに続く通算12回目
- ・ベイシャエスは競走中に疾病(鼻出血)を発症
- ・非抽選馬 1頭(ハビレ)

ペリエール *Perriere*

牡 鹿毛 2020.2.13生
北海道新ひだか町 チャンピオンズファーム生産
馬主・長谷川祐司氏 美浦・黒岩陽一厩舎
馬名意味・フランスの地名より

スキーパラダイスUSA系 F3-I

ヘニーヒューズUSA Henny Hughes 栗毛 2003	Hennessy 栗毛 1993	Storm Cat Island Kitty
	Meadow Flyer 鹿毛 1989	Meadowlake Shortley
ソフトライム 黒鹿毛 2010	フジキセキ 青鹿毛 1992	サンデーサイレンスUSA ミルレーサーUSA
		エルコンドルパサーUSA
	アスピリンスノー 鹿毛 2002	スキーパラダイスUSA

5代までのインブリード：Northern Dancer S5×M5

INTERVIEW

菅原通次専務取締役(チャンピオンズファーム)

楽しみがたくさんある馬だと思います

札幌競馬場で長谷川オーナーと一緒に観戦しました。パドックでの姿からはとても大人びた印象を受けましたし、馬体重は2^{kg}増でしたが、馬体がかかなり大きくなりましたね。レースぶりからも本格化したことを感じました。オーナーの希望であるダートのG I制覇へ向けて頑張ってくださいし、これから楽しみがたくさんある馬だと思います。

H.Kawai



前日に降った雨の影響が残る馬場稍重に緩みのないラップを刻んでレースを先導。ペリエールと佐々木大輔騎手のコンビは、上々の行きつぶりです。5番手を進む。ドウラエレーデとロードクロンヌがその背後を追走。ダッシュがつかなかったマテンロウスカイは後方2番手で2コーナーを回った。向正面に差し掛かると、トロヴァトーレが後方から一気に進出。先行勢も応戦し、残り1000m地点から11秒台のラップが刻まれる展開に。それでも楽な手応えを保ったまま、ウィリアムパローズの背後に迫った佐々木騎手は、直線に向くとその外へ持ち出してスパート。鞍上の仕掛けに鋭く反応したペリエールは逃げ馬を難なくかわすと、外から迫ってきたロードクロンヌも突き放し、最後は2馬身 $\frac{1}{2}$ 差をつけてゴールに飛び込んだ。

ヘニーヒューズ産駒の本馬は2歳8月、札幌でデビューした当初からダートに照準を定めてキャリアと実績を重ね、UAEダービーにも遠征(4着)。

帰国初戦のユニコーンSを完勝し、重賞初制覇を果たした。その後はリステッドと重賞でコンスタントに上位入着を繰り返す半面、長らく勝利から遠ざかっていたが、前走の大沼Sでは2番手追走から悠々と抜け出し、連敗を脱出。2年ぶりの勝利に弾みをつけて挑んだ重賞も連勝し、いっそうのステツ

父ヘニーヒューズUSA

北米10戦6勝(ヴォスバークSG₁、キングズビショップSG₁、サラトガスベシヤルSG₂、ジャージーショアBCSG₃)、07年から米、豪、日で供用
〔代表産駒〕**ビホルダー** Beholder(BCディスタフ・米G₁2回、BCジュベナイルフィリーズ・米G₁)、**モーニンUSA**(フェブラリーSG₁)、**アジアエクスプレスUSA**(朝日杯フューチュリティSG₁)、**ワイドファラオ**(かしわ記念J_hI)、**アマンテビアンコ**(羽田盃J_hI)、**タガノビューティー**(JBCスプリントJ_hI)、**アランパローズ**(全日本2歳優駿J_hI)、**セラフィックコール**(ダイオライト記念J_hII2回)、**メリーメドウ** Merry Meadow(プリンセスルーニーS・米G₂)、**ケイアイレオーネ**(兵庫ジュニアグランプリJ_hII)、他に重賞勝ち馬多数

母ソフトライム

北海道千歳市 社台ファーム生産 中央16戦1勝
デルマアワモリ(15 牡父ストロングリターン)中央3戦0勝、地方39戦4勝
ゲンパチカナ(16 牝父ロードカナロア)中央6戦0勝、地方15戦4勝
ゲットアップ(18 驢父ルーラーシップ)中央38戦3勝(苦小牧特別)、地方6戦0勝
カルディナーレ(19 牝父ヘニーヒューズUSA)中央6戦0勝、地方19戦2勝
ペリエール 本馬(20 牡父ヘニーヒューズUSA)中央13戦6勝(エルムSG_{III}、ユニコーンSG_{III}、大沼S・L、ヒヤシンスS・L、オキザリス賞、オアシスS・L2着、武蔵野SG_{III}3着、グリーンチャネルC・L3着2回)、地方2戦0勝(全日本2歳優駿J_hI3着)、首1戦0勝 獲得総賞金190,497,200円
スタンドアップ(21 牡父ルーラーシップ)地方11戦1勝
シャルメイビス(22 牝父ハービンジャーGB)中央5戦0勝、地方1戦0勝
※17、23(不受精)、25(流産)

祖母アスピリンスノー

北海道千歳市 社台ファーム生産 中央2勝(フローラSG_{III}3着)、地方1勝、16年死亡
ソフトライム(10 前出)
ジュヒョウ(12 牡父ステイゴールド)中央2勝(あすなろ賞)、地方1勝
ハイアーグラウンド(14 驢父シンボリクリスエスUSA)中央3勝(五頭連峰特別)、地方1勝

曾祖母スキーパラダイスUSA

仏、北米、英5勝(ムーランドロンシャン賞・仏G₁、アスタルテ賞・仏G₂)、中央1勝(京王杯スプリングC_GII)、95年輸入、11年用途変更、**エルトゥーレ**(阪神牝馬SG_{III})の母、**キャプテントゥーレ**(皐月賞J_hI)の祖母

上昇気流に乗って2年ぶりの重賞制覇

例年以上に多彩な顔触れが一堂に会したエルムSの主役と目されたのは、重賞初制覇に挑むロードクロンヌ。未勝利戦から4連勝を飾ってオープン入りした後、マーチS3着、平安S2着と惜敗を重ねてきた4歳馬が断然の支持を集め、二刀流のタイトル獲得を狙う芝の重賞ウイナー、ドウラエレーデ、マテンロウスカイ、トロヴァトーレがこれに続いた。とはいえ、そんな一戦を制したのはダートの実績馬。5歳の夏を迎え、再び上昇気流に乗ったペリエールが、3歳時のユニコーンS以来となる重賞2勝目をあげた。大外枠から飛び出し、1コーナーで先手を奪ったウィリアムパローズは、